



# 興 照 寺 報

平成29年7月

63号



発行 浄土真宗 興 照 寺  
〒890-0045 鹿児島市武一丁目25番12号  
電話 **099-254-3269** (代)FAX 099-254-0303



本堂エレベーター横に展示してあります。

「桜 島」 竹井 勝志さん (当寺総代) 作品

- 一頁 お寺というのは大きな家族
- 二頁 西本願寺伝灯奉告法要
- 三頁 春季彼岸会法話 春季永代経法話
- 四頁 行事案内・お願い

## お寺というのは大きな家族

五月十五日付の読売新聞に第四十一回正力松太郎賞の本賞受賞団体として静岡市の浄土真宗本願寺派の教覚寺少年会が紹介されました。寺の日曜学校は全国で開かれています。教覚寺少年会は、住職・副住職が五代百年にわたり、法話などとともにレクリエーションの機会を提供し、子どもたちの成長を支えてきたことが特に評価されたそうです。

「ただ、長く続けてきただけではなく、少年会は小学生が対象だが、「お寺というのは大きな家族」との思いから、卒業すれば「十代の会」に、二十代から三十代は「光輪会」に、四十代になると男性は「壮年会」、女性は「女性の会」に、七十五歳からは「覚寿の会」にと、世代ごとに集える場を設置。それらが互いに交流し、門徒たちが世代を超えて結びつくようにしたことも、今回の受賞につながった。

九十九年には、境内に共同墓も造営。各戸の墓の五分の四が共同墓に移り、お墓も「大きな家族」みんなで守っていく仕組みを整えた。

「お寺というコミュニティは、先に逝った人たちを含め、血縁を超えてつながることが大事なのです。」(副住職の話)

取り巻く環境の違いはありますが、お寺の果たす役割について考えさせられました。

(英憲記)

## 伝灯奉告法要御満座の消息

昨年(平成28年)の10月1日よりお勤めしてまいりました伝灯奉告法要は、本日ご満座をお迎えいたしました。10期80日間にわたるご法要を厳肅盛大にお勤めすることができましたことは、仏祖のお導きと親鸞聖人のご遺徳、また代々法灯を伝えてこられた歴代宗主のご教化によることは申すまでもなく、日本全国のみならず、全世界に広がる有縁の方々の報恩謝徳のご懇念のたまものと、まことに有り難く思います。

昨年(平成28年)の熊本地震から1年を経過し、甚大な被害をもたらした東日本大震災から6年が過ぎました。改めてお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。どれほど時間が経過しても心の傷は癒されることなく、深い痛みを感じてお過ごしの方も多くおられるでしょう。なかでも、原子力発電所の事故による放射性物質の拡散によって、今なお故郷に帰ることができず、不自由な生活を余儀なくされている方々が多くおられます。思うままに電力を消費する便利で豊かな生活を追求するあまり、一部の方々に過酷な現実を強いるという現代社会の矛盾の一つが、露わになったということが出来ます。

自分さえ良ければ他はどうなってもよいという私たちの心にひそむ自己中心性は、時として表に現れてきます。このような凡愚の身の私たちではありますが、ご本願に出会い、阿弥陀如来のお慈悲に摂め取られて決して捨てられることのない身ともなっています。そして、その大きな力に包まれているという安心感は、日々の生活を支え、社会のための活動を可能にする原動力となるでしょう。

凡夫の身であることを忘れた傲慢な思いが誤っているのは当然ですが、凡夫だから何もできないという無気力な姿勢も、親鸞聖人のみ教えとは異なるものです。即如前門主の『親鸞聖人750回大遠忌法要御満座を機縁として「新たな始まり」を期する消息』には、凡夫の身でなすことは不十分不完全であると自覚しつつ、それでも「世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ」と、精一杯努力させていただきます。と記されています。このように教示された生き方が念仏者にふさわしい歩みであり、親鸞聖人のお心になつたものであるといただきたいと思ひます。このことは、ご法要初日に「念仏者の生き方」として詳しく述べさせていただきました。

今、宗門が10年間にわたる「宗門総合振興計画」の取り組みを進めておりますなか、来る2023(平成35)年には宗祖ご誕生850年、そして、その翌年には立教開宗800年という記念すべき年をお迎えいたします。

改めて申すまでもなく、その慶讃のご法要に向けたこれからの生活においても、私たち一人ひとりが真実信心をいただき、お慈悲の有り難さ尊さを人々に正しくわかりやすくお伝えすることが基本です。そして同時に、仏さまのような執われのない完全に清らかな行いはできなくても、それぞれの場で念仏者の生き方を目指し、精一杯努力させていただくことが大切です。

み教えに生かされ、み教えをひろめ、さらに自他ともに心安らぐ社会を実現するため、これからも共に精進させていただきます。

平成29年5月31日  
龍谷門主 釋 專 如

### 西本願寺伝灯法要終わる

西本願寺のご門主が代わられ、その継職の法要である伝灯奉告法要が務められていきました。五月三十一日が満座(最終日)でした。その際、新ご門主がお読みになったのが上記のご消息です。伝灯とは人々を導くこと(法灯)を受け継ぐことです。また、本願寺教団という大組織を指導していくことでもあります。大きなご決意がおりだと思ひます。

前門(前のご門主)の「凡夫の身でなすことは不十分不完全であると自覚しつつ、それでも「世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ」と、精一杯努力させていただきます。」という言葉を引用させていただきます。

親鸞聖人のご和讃(正像末和讃)に

「無明長夜の灯炬なり

智眼くらしとかなしむな

生死大海の船筏なり

罪障おもしとなげかざれ

とあります。真実を見る目を持たないばかりか罪の多い我々を必ず救ってくださる阿弥陀様の願いを伝えて広めたいとの聖人の思いがこれからも正しく伝えられていかれるものと思ひます。聖人が修行された比叡山を開かれた最澄大師が「一隅を照らす」と言われています。明かりを高く持ち上げることも大事ですが足元のおぼつかない我々の必ず進まねばならない道を明らかに照らしていただきたいとおもいます。(英孝記)

### 春季彼岸法要

講師 市川 幸仏 先生

最近では諸般の事情で家族葬にされる方も多いのですが、葬儀をあげずそのまま火葬・納骨する直葬が増えてきているようです。老人介護施設では亡くなられた入所者の葬儀を施設にまる投げしてご遺骨の引き取りにも来られない事もあるようです。引き取るだけですが、「宅急便で送れ」という方もあるとか。馬鹿げた話と笑われるかもしれませんが、犬や猫でも大切に育ててくれた人の死を悲しむというのに、それが出来ない人が増えてきているようです。人は生まれただけで人間になれるわけはありません。今日こうしてお寺に参られ、手を合わせ念仏申させていたでいる。これは自分でそうなったのでしょうか？違います。



手を合わせる姿を見せてもらい、人間は一人で生きてい

はない、仏さまの命をいただき、たくさんのおかけをもらって今日の私がある。だから俺が俺だと我を張るのは恥ずかしい事だと教えてもらい、それでも無くすことのできない煩惱を抱えた私を案じた仏さまから「必ず浄土に生まれ彼岸の世界に生まれて仏さまになるのだよ」と願われた命を私は生かさせてもらっている。そして、「仏になるために生まれてきたのだ」と人生の目的を教えてもらい、仏さまになるための道に出させてもらっているこの姿こそが人間になつている姿です。

遊びに行きたい足がお寺に向かい、いくらでもお金を握りたい貪欲の心がある私が教えのために手を離すことができ、口を開けば不平不満を漏らすこの口の端に仏名が灯り、下げたくない頭が自ずと下がって、お礼せずにはおれない世界に出させてもらった。

家族を養うために金の算段をし、健康を気遣い、自分の子供や孫を案じて気がつけば歳をとって死んでいく。立派な仏道を歩むことは出来ないけれど、そのような生き方しか出来ないあなただからそのまま救うという阿弥陀さまの教えに出逢わせてくれたご恩。その亡き方のご恩を縁に手を合わせお念仏申す仏縁がお彼岸なのです。

(要旨) (英之記)

### 春季永代経法要

講師 渡邊 暁晃 先生

先生には、『正信偈』の「帰命無量寿如来・南無不可思議光」のお謂われを中心に丁寧にお話を頂きました。ここでは分かり易いたとえ話を頂きましたのでその事を記したいと思います。

①阿弥陀様の智慧の光で私を診断して診たら多くの病が見られたが、その中の三つを取り出してい

- 一、無自覚性自己中心症候群
- 二、先天性不治癒型悪性傲慢炎
- 三、瞬間湯沸かし器型地獄直行立腹病

これが凡夫であり、お恥ずかしながら私の本当の姿であります。無自覚で先天的で不治癒型で地獄直行であります。もう救い様もない私であります。この救い様もないものを救うのは大変な事であります。そこでどうしてもこの病から救われなければならないので、特効薬を作ろうと思われた。五劫という永い間考えられ(研究)、兆載永劫というまた永い間修行を積まれた(開発)、そして出来上がったのが南無阿弥陀仏の「六字丸」。

三つ子でも飲みやすくしてある(覚えやすく称えやすい)「ナンマンガブ」、その南無阿弥陀仏の



お働きで私達を救おうとした。主成分は弥陀の願と行。

②「いや、難しい事は知らんではない」と五十五年前の親鸞聖人七百回遠忌で梅原真隆和上が語られました。梅原先生は学者ですので、さぞ難しいお話をされると思っていたら「南無阿弥陀仏はお母ちゃんのおツパイじゃ」と言われた。オツパイの成分はミネラルがいくら、タンパク質がいくらと知らんでも良い。ちゃんと親の方で赤ちゃんが飲めば成長するように仕上がっている。「南無阿弥陀仏はお母ちゃんのおツパイじゃ」という意味は、もう阿弥陀仏の方がちゃんと仕上げて下さっている、だから飲めばいい、頂けばいい。とつなげました。

つまり、お念仏を頂いて難しい事は分からなくとも、救い様もない私を救いたいと思われた阿弥陀様のお謂れを聞いてゆく、そこに感謝と安心の日暮しが開けてゆくのです。

(英清記)



秋季彼岸法要のご案内

・期日(○のある日時にあります)

九月	午前 十時より	午後 二時より
二十日(水)	○	○
二十一日(木)	○	吹上
二十二日(金)	吹上	吹上
二十三日(土)	○	○
お中日	○	○

・講師 筑波 英道先生 (山口県)

秋季永代経法要のご案内

・期日 十月 二十一日(土)

二十一日(日)

・時間 朝席 十時より

昼席 二時より

・講師 穂山 憲之先生 (福岡県)

※永代経志納を希望される方は、

十月十五日までに寺へご相談ください。

〈永代経志納のお勤めは二十二日

(日)の昼席に行います〉

※どなたでも聴聞できます。気軽

にご参加ください。



永代経について

浄土真宗のみ教えが「子々孫々永代にわたって伝えられてゆくように」という願いを込めて営まれるのが永代経法要です。み教えを伝えて下さったご先祖の遺徳を偲び、何より私自身が聞法に励んで、慶びを子孫に伝えていく。これこそが永代経法要の大きな意義です。生前にご自分の永代経をあげられる方もおられます。

報恩講のご案内

・日 十一月十九日(日)

・時間 朝席 九時半より

昼席 二時より

・講師 北山 祐章先生 (広島県)

花まつり・和順会総会

四月三日に本堂で催されました。婦敬式を行い、その後踊りなどが披露されました。



お盆参りについて

初盆や寺での読経を希望された方にはその日時などを書いたものを同封してありますのでお読みください。また、ご自宅への盆参りを希望された方は、ほぼ例年と同じ日にお参りする予定ですが時間はお約束できませんのでご了承ください。

お盆中の納骨堂のお参りについて

八月の十三日より十五日までは閉館時間を午後九時にいたします。午前九時半頃より午後三時頃までは、寺での法要と重なり駐車場が混雑します。車でのお参りは避けられた方が良くと思います。

※会員を募集しています

◎和順会

五十年を超える長い歴史をもつご門徒の方々の会。八月より新年度が始まります。

◎親厚会 (男性の親睦会)

毎月十七日十八時より

「正信偈」のお勤め・法話・懇親会

◎婦人会 (女性の親睦会)

毎月十二日十二時より

「正信偈」のお勤め・法話・懇親会  
どなたでもお入りいただけます。

いずれの会もいつでも入れれます。多くの方の参加をお待ちしています。詳しくは寺へお問い合わせ下さい。

職員紹介



瀬川 英之 (34歳)

住職の長男。入寺して三年が経過しました。法務においてはだいぶ慣れてきましたが、まだまだ経験不足です。今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願いたします。  
趣味Ⅱ読書・カラオケ  
(花嫁募集中です。)

あとがき

興照寺にもいくつか会があり、会員同士楽しく語らい、一緒に楽しいひと時を過ごしています。お寺をもっと親しく感じていただくためにもご参加いただければありがたいです。会の活性化が活性的にもつながっていくものと思っております。  
(英憲記)